

令和7年度 第3回 若葉区民対話会 (白井・更科地区町内自治会連絡協議会)

令和7年12月6日(土)

〈次第〉

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告事項
- 4 意見交換会

(1) 更科地区における避難所のあり方について

- ・参加者) 更科地区に、避難所を新たに2か所設置してもらいたい
現在、避難所は更科公民館と更科小学校の2か所。北部地区の住民は、避難所まで4～5キロ。交通が混乱することも想定されるし、高齢者の足だと距離的に厳しい。北部地区に1か所と南部地区に1か所追加で設置してほしい。
- ・参加者) 富田分校の跡地利用について、資産経営課の説明を受けた。来年度早々に一般事業者向けに公募をかけ、応募がなければ令和9年度に解体して更地にするとのこと。現在の分校について、土地の半分は地権者からの借地になっているため、更地にして返還とのこと。富田町としては分校を避難所にしてほしいと考えている。40年以上が経って老朽化しているが、耐久性は問題ないとのこと。維持費がかかるとの説明だったが、地域としては避難所として整備してほしいと考えている。
区長) 担当課である防災対策課に伝えておく

(2) 北谷津清掃工場の周辺整備について

- ・参加者) 北谷津清掃工場の周辺整備については、まず温水プールが移転する。その他、アリーナや賑わい広場などの意見を出したが、市は予算をつけてくれなかった。
- ・参加者) 谷津田いきものの里や富田さとにわ公園など、歩いて回遊するコースを作ればよいのでは。富田分校も活用して、農山村留学を受け入れられるような場所にしてはどうか。
- ・参加者) プレイパークの取組が県内でも広がっている。清掃工場裏の山でもプレイパークをやろうという動きを地域でしている。私有地を借用して整備する。いずれはNPOを立ち上げて人材の確保や育成、賃金が回る仕組みを作りたい。
区長) 市から補助などがなければ、地域活性化を支援する補助金もあるため、いずれ活用を検討してほしい
- ・参加者) 自治会の会員が減少してきて活気が失われている。北谷津清掃工場のような未来のランドデザインや夢を考えることは、自治会活動の活力にもつながるのではないかと感じた。

区長) 千葉市の人口は全体として増えている。転入が転出を上回っている。若葉区はほぼ横ばいの状況。おっしゃるように、人口が減って高齢化が進むと自治会活動も縮小していくという話はよく聞いている。役員の担い手が不足し、祭りをやりたくても人手が足りないなど、うまく回らなくなっているということは感じている。

大学生や高校生、中学生など若い世代に参加してもらえないか、などいろいろと思案しているが、なかなか簡単には結論が出ない難しい問題。ランドデザインについては考えてみる。

(3) イノシシへの対策について

- ・参加者) アライグマ対策もしてほしい。農作物はアライグマ被害が多い。

区長) 環境局において、イノシシだけでなく、アライグマやハクビシンの捕獲も実施している。

(4) スクラップヤードについて

- ・参加者) ヤードについては、ヤードだけでなく道の問題もある。市としては道路という観点でどう考えているのか。たとえば畑に行く道がガタガタになったり、スクラップが落ちていたりする。サイクリングロードにもなっているため、本当にその状態でいいのかと思う。ヤードを許可する際に、道路の整備や通行規制などといった指導も必要なのではないかと思う。道路の幅員が狭い場合は許可しないようにしてはどうか。高根グリーンタウン、高根団地、泉高校前の坂を大型トラックがどんどん通る。通学路にもなっているため危ないのではないかと思っている。

5 閉会